

八幡東区

●枝光北市民センター

●枝光市民センター

市民センターにおける生涯学習事業

区	八幡東区	センター名	枝光北市民センター
---	------	-------	-----------

事業・活動名
生涯学習市民講座（いきいき子どもひろば合同開催）

事業・活動の背景とねらい・目的
枝光北市民センターは、立地が学校通学路から大きく離れており、日常の子どもたちの利用がほとんど無いという現状があります。そのため毎月行っている「いきいき子どもひろば」では子どもたちが来てくれるような企画を考え実施しています。 本講座修了後、子どもたちの利用促進や、地域の方々のコミュニケーションを深めることを目的としています。

取組内容
「えだきた 初めての魚釣り教室」は小学生の親子対象に10組20名募集しました。 講座を実施するには、少なくとも5名の指導者が必要だということになり、ボランティアを募集したところ地域からは1名申込みがありました。後の4名は、館長の釣り関係のネットワークを活用し、公益財団法人日本釣振興会九州地区支部や全日本サーフキャスティング連盟北九州協会に協力いただくことができ、講座の実施が可能になりました。 講座は4回コースで、自然環境や命の大切さ、釣りのルールやマナーの啓発、釣り文化の継承を目的とした学習です。 1回目は釣りの座学「釣りの道具はどんなもの?」、2回目は「釣り方の違いとキャスティング練習」、3回目は「仕掛けを作って釣りをしてみよう。サビキ釣り」4回目は「仕掛けを作って釣りをしてみよう。投げ釣り」として実際に海釣り体験を行い、アジやハゼを釣ることができました。 教材は日本釣振興会にご協力いただき、海釣り体験は講師の方たちに、マンツーマンで丁寧に教えていただきました。 地域ボランティアを含めた講師の方たちが見守る中、親子で釣り体験を楽しむことができ、有意義な講座を実施する事ができました。

成果・効果

講座の参加者は、今まであまり市民センターを利用したことのない親子でしたが、本講座修了後も、子どもたちは、市民センターで行った「魚さばき教室」や「ドローンを飛ばそう」また「ロボットたちと遊ぼう」などの講座にも積極的に参加するようになってきました。

また、保護者の方も、講座参加を機に地域の行事に参加されたり、PTAの役員を引き受けたりするなど、地域活動へ積極的に参加するようになりました。

今後の取組

今回の、マンツーマンでの指導が、受講生の釣りへの興味や意欲を高めることに非常に効果的でした。

次年度は、スケジュールに余裕を持たせた日程で、子どもからお年寄りまで全世代が参加できる「初めてのお魚釣り教室」を開催する予定です。

館長としては、レジャーとしての釣りだけではなく、基本的なあいさつや人々への気配りや心づかいなど様々な経験ができる釣り講座に発展させていき、さらには、海上保安庁による安全講習会の実施も視野に入れて考えているそうです。

他地域展開を見据えた視点・ポイント

北九州市は全国的に見ても海岸線が長い都市です。海釣り公園も設置されており他の地域に比べて釣り文化に理解があります。

一方でコロナ禍によりマナーを知らない釣り人が一時的に増えたようですが、マナーやルールを守り、安全に楽しく釣りができる環境を作る人材育成に力を入れた事業を、多くの地域にも展開していきたいと思います。

活動の様子



講座に参加された皆さんと講師たち



キャスティング練習は子ども達の上達がとても早かったです



姿勢も良くなってより遠くに投げられるようになりました



マンツーマンの釣り体験です



魚を手に楽しそうです 1 投目からアジが釣れました 苦労してハゼが釣れました

地域・人づくりアドバイザー、地域・人づくり担当補佐の関わり

今回の講座を実施して、人材育成や地域づくりの視点につながる、良かった点や、新しい展開につながることを、他の地域や市民センターにも展開していきたいと思います。

作成者

八幡東区役所コミュニティ支援課
〃

地域・人づくりアドバイザー
地域・人づくり担当補佐

樋上 禎子
松本 綾乃

市民センターにおける生涯学習事業

区	八幡東区	センター名	枝光市民センター
---	------	-------	----------

事業・活動名

生活体験通学合宿

事業・活動の背景とねらい・目的

子どもたちが家庭を離れ、生活の様々なことを自身で行うという機会は少なくなっています。

この事業は、子どもたちが自然体験や奉仕活動を通して、連帯感・自主性・自立性などを養い、心豊かに逞しく生きる力を育成するとともに、生きていくために家族、友達、地域など多くの人たちから支えられていることに気づき感謝する心を養い、シビックプライドの醸成につながることを目的としています。

枝光市民センターでは、この事業に平成13年度から取り組みはじめ、令和2、3年度は新型コロナの為に中止となりましたが、今年度で22回目となります。

取組内容

5月の検討会から事業開始の9月9日まで、3か月以上、実施に向け準備が行われました。9月9日～15日（6泊7日）枝光市民センターで実施、14名（4年5人、5年3人、6年6人）の児童が参加しました。

6時起床→通学（平日）→22時就寝までスケジュールが組まれていました。食事も自分たちで献立を作成しサポートを受けながら調理をして、後片付けをしていました。

当初は、大人が関わりすぎることもありましたが、スタッフ間で目的を共有し話し合いを重ねながら見守りを基本としたとのことでした。

日曜日は自然体験学習（アジ釣り）も実施されました。

成果・効果

下校後、宿題を済ませ各班に分かれ当日の役割を積極的に取り組んでいました。

継続して参加している児童も多く、卒業後は、お手伝いに来てくれる児童もいるとのことでした。

合宿期間はゲーム禁止となっていますが、ゲームをやりたいかを尋ねてみたら「ゲーム以外に楽しいことがあるから、やりたいとは思わない」との返事が返ってきました。

ゲームに依存する児童が多いといわれるこの頃ですが、ゲーム離れのきっかけづくりになる事業だと思いました。

今後の取組

21世紀を担う子どもたちを、育成していく為継続して開催できるように、日頃から地域のイベント等で多世代が交流できる事業を実施していきたいと思っています。

他地域展開を見据えた視点・ポイント

実施するには、ハードルが高い事業ですが、取り組む地域が増えるように内容を発信していきたいと思っています。

活動の様子



開級式



ラジオ体操



一緒に宿題



食事の支度



洗濯も自分で



修了証書贈呈



親子でアジ釣り



老人会の皆さんと草刈り

地域・人づくりアドバイザー、地域・人づくり担当補佐の関わり

どのような体験をしているのか、朝と夕見学に行きました。
北九州市内で1カ所だけ実施している事業なので今後も続いていくように応援したいと思います。

作成者

八幡東区役所コミュニティ支援課
〃

地域・人づくりアドバイザー
地域・人づくり担当補佐

樋上 禎子
松本 綾乃